

## 再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：奥村 康博

事業名	地域高規格道路 茂原・一宮・大原道路 一般国道409号 茂原一宮道路	事業区分	一般国道	事業主体	千葉県	
起終点	自：千葉県長生郡長南町千田 至：千葉県茂原市三ヶ谷			延長	7.2km	
事業概要	一般国道409号茂原一宮道路は、地域高規格道路「茂原・一宮・大原道路」の一部を構成する道路であり、渋滞緩和、地域の活性化等を目的とし長生郡長南町千田～茂原市三ヶ谷までの延長約7.2kmを整備するものである。					
H12年度事業化	H5都市計画決定 (長南町千田～茂原長南IC)	H13年度用地着手	H14年度工事着手			
全体事業費	約152億円	事業進捗率	約68%	供用済延長	0.7km	
計画交通量	8,500～13,600台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.4	総費用 (残事業/事業全体)	44/182億円	総便益 (残事業/事業全体)	245/261億円
	(残事業)	5.6	事業費	38/175億円	走行時間短縮便益	224/238億円
			維持管理費	6.2/6.9億円	走行経費減少便益	15/17億円
					交通事故減少便益	5.7/6.9億円
<b>感度分析の結果</b> (事業全体) 交通量 : B/C=1.3～1.6(交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.4～1.5(事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.3～1.6(事業期間±20%) (残事業) 交通量 : B/C=5.0～6.1(交通量 ±10%) 事業費 : B/C=5.0～6.1(事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=5.1～6.0(事業期間±20%)						
<b>事業の効果等</b> ①緊急輸送道路ネットワークの強化 千葉県長生地域を東西に結ぶ緊急輸送道路の強化が期待される。 ②観光 2020年東京オリンピックのサーフィン会場である釣ヶ崎海岸から圏央道の茂原長南ICまでの所要時間が短縮する等、観光地へのアクセス向上により観光振興に寄与する。						
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・地元市町村で構成される整備促進期成同盟会から要望を受けており、国土交通省、財務省等への要望活動も行っている						
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 事業継続を妥当と認める						
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・圏央道の東金JCT～木更津東IC間約43kmが平成25年4月に供用し、茂原長南ICに接続する当該道路も圏央道の開通に併せて、0.7km区間の部分供用をしている						
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地取得率約81%、事業進捗率約68%						
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・県道茂原大多喜線までの約4kmについて令和5年度までの開通を目標に整備を進めていく ・県道茂原大多喜線から広域農道までの約2.5kmについては、残る用地の取得と工事を推進し、早期の整備効果発現を目指していく						
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・建設発生土の有効活用や、新技術・新工法の積極的な活用コスト削減に努める						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

## 事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。